

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山市	地域再生計画名	「水潤う街おかやま創造計画」
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	岡山市環境局長 見平 孝行、岡山市下水道河川局長 嶋村 真二		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度		指標総数	達成数		
	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	83.7%	H30	84.8%	R4	85.0%	85.4%	R6	○	3	3	中間目標値を達成している。
	指標 2	児島湖（湖心）の水質の改善（COD：75%値）	8.8mg/L	H30	8.7mg/L	R4	8.1mg/L	8.6mg/L	R6	○	3	3	現在のところ最終目標値を達成している。
	指標 3	岡山市環境パートナーシップ事業に参加する市民割合の向上	6.6%	H30	6.7%	R4	7.2%	6.8%	R6	○			すでに最終目標値を達成している。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R4）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業（統廃合）（処理区数）		6処理区	1処理区	5処理区	概ね計画のとおり完了する見込みである。1処理区について他事業との工程調整により進捗が遅れているため、必要に応じ、計画期間の延長も視野に入れ、計画に則した整備を目指していく。							
	農業集落排水施設整備事業（統廃合）（処理区数）		1処理区	0処理区	1処理区	整備が計画通り完了する見込みである。統廃合による、効率的・継続的な生活排水対策の推進のため、引き続き事業実施を行いたい。							
	農業集落排水施設整備事業（改築更新）（処理区数）		2処理区	1処理区	2処理区	整備が計画通り完了する見込みである。1処理区の改築更新により、効率的・継続的な生活排水対策の推進等に寄与している。引き続き残りの1地区についても事業実施を行いたい。							
	合併処理浄化槽整備事業（個人設置型）（基数）		4,600基	2,248基	3,800基	コロナ禍における木材価格の高騰や半導体の供給不足により新築建築数や改造物件数に伴い、浄化槽の設置基数も全国的に減少傾向にあった。景気回復に併せ、令和5年度からの補助金拡充メニューの導入で転換基数の増加に繋げたい。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	岡山市環境パートナーシップ事業		自主的な環境保全行動を実践する団体や事業者の登録等		河川等の清掃、草刈りなどの「エコボランティア活動」や、事業所自らの活動から発生する環境負荷を継続して低減していこうとする「グリーンカンパニー活動」への団体等の登録は、順調に進めてきた。引き続き、市民や事業者の自主的な環境保全活動を支援・推進する。								
	環境学習事業		水辺教室等の自然体験プログラムの開催		令和4年度は、公民館での自然体験プログラム参加者への啓発品配布やインスタグラムの運営などを通して、市民への啓発を進めることができた。今後も継続して実施し、生物多様性や身近な水環境等に関する市民意識の向上をめざす。								
	岡山市身近な生きものの里事業		主体的な生物多様性保全活動を行う地域の認定と活動支援		新規の里を発掘、認定を進めており、令和4年度末現在25地区に対して、保全活動に関する謝礼や資料提供などの活動支援を実施した。引き続き、新規の里の発掘、認定、支援を推進する。								
	合併処理浄化槽への転換に対する上乗せ補助事業		汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、補助金を上乗せして交付		平成28年度から令和4年度まで既存住宅で汲取り便所から合併処理浄化槽に転換する場合、設置工事費用について本市の一般財源により補助金を25%上乗せして交付した。上乗せ補助による転換設置基数については一定の成果が表れている。								
③評価方法	岡山市環境総合審議会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う。												
④中間評価の公表方法	岡山市環境局環境部環境保全課のホームページに掲載する。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画は、下水道整備計画のない地域や、下水道整備計画の予定が当面ない地域において合併処理浄化槽を整備し、また公共下水道と農業集落排水施設を統廃合、改築更新することで効率的・継続的な生活排水対策を推進し、公共用水域の自浄作用が十分機能するまでに汚濁負荷量の削減を図り、清流を再生するとともに、水質の改善や快適な生活環境の向上を図ることを目的としている。指標については中間目標値を達成していることから、今後も計画に則した事業実施を基本としつつ、進捗が遅れている事業や事業量に変更が生じている事業に応じて、計画変更や計画期間の延伸を行っていく（下水道）とともに単独処理浄化槽及び汲取り便所から合併処理浄化槽への転換に力を注いでいく（浄化槽）。また、計画外で独自に実施した事業については、環境学習事業がコロナ禍の影響を受けたものの、SNS等を活用した事業を展開することにより、全体として、市民への啓発や支援を着実に実行することができた。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					進捗が遅れが出ている事業や事業量に変更がある事業があることから、中間評価の結果を踏まえて、計画変更や計画期間の延伸を行う予定（下水道）。また、計画期間の延伸に伴い、合併処理浄化槽設置事業についても事業期間の延伸と事業量の計画変更を行い、計画目標値を上方修正を行う予定（浄化槽）							
令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 約 Δ53,000 千円					浄化槽設置に係る交付金の中間年経過後の実績値に基づく調整によるもの								
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間延長計画の変更の認定申請を予定（公共下水道） ●宇甘東処理区の下流マンホールポンプ増強に伴う事業量、事業費の見直し（公共下水道） <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業量（公共下水道） 既計画 接続管路=3,680m、マンホールポンプ4基 → 接続管路=4,880m、マンホールポンプ8基 ・事業費（公共下水道） 既計画 378,600千円（うち、交付金 189,300千円） → 513,600千円（うち、交付金 256,800千円） ●計画期間の延伸に伴う事業期間、事業量、事業費の見直し（浄化槽） <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業量（浄化槽） 既計画 個人設置型=4,600基 → 個人設置型=5,500基 ・事業費（浄化槽） 既計画 1,804,199千円（うち、交付金 670,999千円） → 2,178,765千円（うち、交付金 813,284千円） ●総事業費 既計画 2,448,799千円（うち、交付金 959,369千円） → 2,958,365千円（うち、交付金 1,203,084千円） ●補助金メニューの拡充による汲取りからの転換促進（浄化槽） <ul style="list-style-type: none"> ・補助金メニュー拡充に伴う計画変更は、令和4年度に承認済み。令和5年度から実施。 ・汲取りからの転換に伴う宅内配管工事費用に係る補助（上限30万円）、汲取り便槽撤去工事費用に係る補助（上限9万円）。各100基予定。 ●生活環境の向上に向けた事業推進 <ul style="list-style-type: none"> ・水質に係る規制対象事業場等の規制や公共用水域の監視、生態系保全を行う市民団体等への支援について、引き続き推進する。 												